

新年あけましておめでとう
ございます。皆様には希望に満ちた健やかな新春をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

昨年は東日本大震災からの復旧・復興がなかなか進まないなか、ほとんどの原子力発電所が停止し電力需給が確保されず、円高・デフレ不況が一向に改善されていません。年末には急な衆議院議員総選挙があり、再び自民党を中心とした内閣が誕生しました。「日本を取り戻す」というスローガンの元、様々な政策の見直しも予測されます。しかしエネルギー問題を含む原発の再稼働、円高・デフレ不況 T P P、領土問題など難問が山積するなか、行政の安定的な継続性を確保するためにも、急激な政策変更ではなく新政権の的確な国政の舵取りを期待します。

本町では「古事記」編纂 1300年の節目の年にあたり、大和郡山市と共催でウォーク&イベント、弥生の里ホールでの記念フォーラムなどを開催させていただき町内外から多くの皆様においでいただきました。編纂1300年の年は終わりましたが、今年以降も太安万侶の故郷として田原本町を全国に発信していきたいと思えます。

全国的に急進する少子化、本

効率的・効果的で持続可能な 行政運営に取り組み、地域の さまざまな課題を解決します

田原本町長 寺田 典弘



測される大地震に対する防災体制の強化をはじめ住民の安全安心な暮らしの確保、健康づくりと福祉の充実など住民の要望と時代の要請に的確に答えていかねばなりません。

本町の玄関口である田原本駅は西側の駅前広場は完成したものの、引き続き広場を核とした周辺再開発に取り組みねばなりません。同様に東側についても、どのような開発が適当なのか有識者を含む一般の皆様による委員会を立ち上げ、駅周辺の「まちづくり」を総合的に協議してまいりたいと考えています。保津付近は平成25年度中には京奈和自動車道一般道が供用され、産業・交流系の新たな都市機能形成でき、整備された駅周辺中心市街地をつなぐ交流機能を持つた治道利用型の市街地形成を進めてまいります。そのためにも企業誘致に取り組む必要が

あり、準工業に編入された部分については社会資本の整備を急いで進めています。

唐古・鍵遺跡は史跡公園として平成29年の完成を目指し工事を進めており、同時に北側地域において駐車場ゾーン、交流促進施設ゾーン、民間施設ゾーンも含めた歴史拠点の形成を目指し地区計画を作成しています。

新清掃工場については、御所市・田原本町・五條市との広域建設に向け、やまと広域環境衛生事務組合が立ち上がり、御所市の建設場所である栗阪地区等と協定書を交わしました。平成27年10月の操業は難しいですが、できるだけ早期の運転開始に向け工事発注を行ってまいります。

これら以外にも笠縫駅東側の整備、待機児童解消のため宮古保育園の新設拡充など取り組むべき課題は山積しています。

今後地方分権の推進、急激な

少子化、本格的な長寿社会、住民意識・生活様式が多様化など取り巻く環境が大きく変化するなか、時代の要請に応じた行政活動を行うためには行政の在り方・役割分担を考え、自立した財政基盤の確保を図るとともに、簡素で効率的・効果的で持続可能な行政運営に取り組みねばなりません。同時に田原本の明日を担う子どもたちに負担を先送りすることなく、住民のニーズに合わせた対応、住民満足度の向上など地域の様々な課題を自主的・主体的に解決し、魅力ある「まち」に向け職員共々、公平・公正な町政運営に取り組んでまいりますので、さらなるご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに本年が皆様にとりまして健康で幸多き年でありますことをご祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。

明けましておめでとうござ
います。町議会を代表し、
謹んで新年のご挨拶を申し上げ
ます。町民の皆様には、平素よ
り町議会の活動に多大なるご理
解とご協力を賜り、厚くお礼申
上げます。

私は議長として、これまで多
くの住民の皆様のご意見をお聞
きしてまいりました。また、全
国町村議会議長会の副会長や相
談役として、全国の町村の声に
も耳を傾けてまいりました。そ
の間にも、地方公共団体の自由
度が拡大し、自主・自立の必要
性が高まるとともに、地方行政
の多様化、専門化が進み、議会
の責務と役割は、ますます大き
くなっています。

私たち議員は、町民目線に
立って、議会に課せられた使命
を全うするため、政策立案や行
財政の調査研究等に努めながら、
より一層議会活動の充実に取り
組まなければならないと決意を
新たにしているところです。

さて、昨年末、金融政策やT
P P、エネルギー政策など、国
政が抱える喫緊の課題を主な争
点として行われた総選挙により、
新しい政権が誕生しました。長
引く景気の低迷、歴史的な円高
やデフレなどにより、わが国の
経済・雇用情勢は厳しい状況に
あります。また、東日本大震災

より一層議会活動の充実を。 住民の皆様の期待に応えるべく議論 を重ねていきます

田原本町議会議長 松本 宗弘

による社会的・経済的影響は被災地のみならず、わが国全体に及んでいます。新政権には、このような状況の打開に加え、社会保障制度の総合的な改革や真の分権型社会を目指した、さらなる地方分権の推進等、山積する政策課題に積極的かつ迅速な対応を期待するところです。

本町におきましては、平成28年度末までのまちづくりの計画である第3次総合計画の施策分野ごとの目標を示す後期基本計画がスタートしました。町議会では、執行機関との役割の違いを踏まえたうえで、常に連携と緊張の関係を保ちながら、町の将来像である「自然と歴史・文化が育む新しい生活拠点 たわらもと」の実現に向け、効率的で効果的な政策決定に努めてま

います。

とりわけ、新清掃工場建設については、建設費、運営コストの削減や環境負荷の低減を図るため、御所市・五條市との2市1町による「やまと広域環境衛生事務組合」で、行政区域を越えた広域建設に向け、取り組みが進められています。

また、唐古・鍵遺跡史跡公園整備事業については、平成29年度の完成をめざし、新年度も造成工事等に取り組む予定です。国の史跡であり、わが国を代表する貴重な歴史資源の保存と、観光交流の拠点施設として魅力ある公園づくりを進めるとともに、唐古・鍵遺跡史跡公園の北側地区で、国道24号の優れた広域交通条件や歴史環境などの特性を活用し、商業・治道サー

ビス施設、交流促進施設や製造体験、見学が可能な加工施設とこれらに付属する駐車場などを主体とした土地利用が検討されているところです。

いずれの事業も、より良い方向を選択するため、町議会の所管委員会において、事業計画等について審査を重ねているところです。今後もさまざまな町政課題に、限られた財源の有効活用と施策・事業の優先度等を見極めながら、町民の皆様の期待に応えるべく、しっかりと議論を重ねてまいり所存ですので、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

新春に臨み、本年が皆様にとつて実り多い幸せな一年となりますよう心からお祈りし、新年のご挨拶いたします。

